



## 犬山市 NPO法人シェイクハンズ 寺子屋カフェ

さまざまな事情を抱える子ども達に寄りそう  
～地域の子どもをみんなで見守る居場所～



今回は『寺子屋カフェ』代表の松本里美様にお話しを伺いました。

寺子屋カフェは、外国にルーツを持つ子ども達が、言葉が分からず上手く日本の学校や社会に順応できず厳しい環境に置かれていることを知り、日本語と学習支援の教室を始めました。

リーマンショック後、逼迫する家庭が増えたことを受け、不定期で日本人家庭も含めた生活支援も行っています。



△様々な年齢・国籍の子供たちが一緒に遊び・学んでいます。

寺子屋カフェでは、未就学児から高校生ままでを対象とした学習支援の他、4年程前からコミュニティカフェを使い、だれでも利用できる子ども食堂を始めました。コロナ禍で学校閉鎖の際には、外国籍の子ども達のためにオンライン在宅授業や、見守りを兼ねた弁当配布を行ったそうです。

子ども食堂は現在コロナ禍のため、利用者は学習支援の子ども達とその兄弟がほとんどですが、ひとり親家庭等の保護者の利用など、1回に30人～40人の利用があるとのこと。利用者からは、「忙しい親が週に2回だけ、ゆったりした気持ちで子どもと共に夕食を取ることができるので、貴重な時間になっている」「外国籍の子どもたちが、日本の家庭料理に慣れる良い機会になっている」「孤食の子ども達が、みんなで食べるひと時として、とても楽しんでいる」との声があり、大好評のようです。

寺子屋カフェには、子どもが好きな方がボランティアとして来て、宿題を見たり、遊びや工作の手伝い、調理の手伝い、掃除など、それぞれ得意なことを手伝ってくれています。仕事帰りに立ち寄ってくれる方もいるそうです。

「子どもの置かれている環境はそれぞれ違うが、とにかくひとり一人に寄り添う事を意識し、学校や社会福祉協議会、ロータリークラブ、他のNPO等とも情報を共有し、農業などの体験活動も取り入れながら、自分達で作る野菜を調理するなど、地域での体験も加えて、地域の居場所として、継続していきたいと強く思っている」とのことでした。



△みんなで楽しい夕食タイム♪

地域の子どもを地域全体で、見守り育てられるよう皆さんと協力したいと思っています。子どもの笑顔が宝です。

最近では、さまざまな団体や支援組織、企業、個人からの物資提供の機会も増え、地域の皆さんの力で充実した活動ができています。

とても感謝しています。

(寺子屋カフェ 代表：松本 里美)



△勉強に取組む子ども達とボランティアさん

### (寺子屋カフェ問い合わせ先)

住 所：〒484-0854

犬山市字裏の門55-1 楽田児童センター2階

電 話：0568-39-5266

F A X：0568-48-1533

mail：info@shake-hands.jp 担当：松本 里美

Facebook、Instagram「#シェイクハンズ」

H P：https://shake-hands.jp

### ☺活動場所・活動日☺

場 所：住所と同じ

時 間：毎週月～金曜日 日曜日は体験活動

学習支援16:00～ 子ども食堂17:30～19:30

※詳細はお問合せください。

※手洗い・うがい・消毒の徹底、各部屋に空気清浄機を設置し、換気を定期的に行うなど、感染症対策には十分に留意しています。





## 「2022年度 こども食堂全国箇所数発表および こども食堂の現状&困りごとアンケート調査結果」について



認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえより「2022年度 こども食堂全国箇所数発表およびこども食堂の現状&困りごとアンケート調査結果」について情報提供がありました。

2022年度  
こども食堂  
全国箇所数発表  
(2022年12月速報値)

※2022年度こども食堂全国箇所数発表(2022年12月速報値)より  
全国のこども食堂は前年より1,317箇所増え、**7,331箇所**となりました。  
愛知県(**293箇所**)は、昨年度からのこども食堂の増加数では、1位の大阪府(143箇所)に次いで101箇所増え2位となり、増加率では1.5倍増となりました。  
充足率(校区実施率)では、小学校数962校に対し校区のこども食堂数は220箇所あり、22.87%で27位となりました。  
また人口比では、人口10万人あたりのこども食堂数は3.89箇所で全国41位となっています。

第7回  
こども食堂の現状  
&  
困りごとアンケート  
最新調査結果 発表

※こども食堂の現状&困りごとアンケートvol.7調査結果より  
(調査期間:2022年10月26日~2022年11月19日)  
2020年4月から始まったこちらのアンケートは今回で7回目となります。  
今回の調査結果では、こども食堂や食材配布を開催するにあたり、昨今の物価上昇の影響を感じているとの回答が82.7%と前回より10%も上昇する結果となっています。

また活動の中で起こった困り事『困り事具体例(自由筆記)』など、現場の声が集められ掲載されています。



○詳細は下記アドレス、QRコードより、同団体ホームページページをご参照ください。  
URL : <https://musubie.org/news/6036/>



## 防 災 を 知 っ て 学 ば っ け

～災害について見て、学んで、体験することでいざという時に備えよう！～

名古屋市港防災センターでは、「地震を知るコーナー」などの展示の他、震度7の地震体験や3Dシアターによる津波・台風などの自然災害疑似体験を通して災害時の対応を学べます。

また公式ウェブサイトの「おうちでぼうさいをまなぼう！」コンテンツでは、身近な物で作る防災グッズの作り方などをダウンロードできます。色々な災害について日頃から学んで、いざという時に備えましょう。

住 所 : 〒455-0018 愛知県名古屋市港区港明1-12-20 (港区役所駅1番出口から北へ徒歩3分)

入館料 : 無料 営業時間 : 9:30~16:30 休館日 : 毎週月曜日、第3水曜日(祝休日は開館、その直後平日休み)

※詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。

ウェブサイトURL : <https://minato-bousai.jp/>



防災センターキャラクター  
ソナ・エル



子どもの居場所  
応援フラザ  
問合せ先

愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター内  
TEL:052-212-5504

FAX: 052-212-5505 Eメール: [info@aichivc.jp](mailto:info@aichivc.jp)  
HP: <http://aichivc.jp/>

〒461-0011 名古屋市東区白壁1-50愛知県社会福祉会館 2階

社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会



情報提供待ってます♪